

将来の不確実性が高まり、経営課題の複雑化も叫ばれています。

こうした今、変革を実現するための経営モデルとして、「パーパス経営」がビジネス界で注目されています。

パーパスとは「目的」や「意義」のことであり、「パーパス経営」とは端的に言えば、「自社の存在意義を明確にして経営を行うこと」を意味します。

「社会にとって、自分たちにはどんな存在意義があるのか」

「社会にどんな価値を提供するのか」

企業と公立学校の違いはあるが、指針や経営方針を外部が理解しているかが大事なところだとすると、理解への打つ手（策）が重要な鍵と言えます。自己満足で終わることがないように戒めたいと思っています。

成功するには「行動すること」です。継続的に行動することです。もちろん、適切なる考え方に基づいて。